

情報処理技術者試験 新試験制度の概要

みちしるべ
— 高度IT人材への道標 —

平成20年1月24日

独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

■ 情報処理技術者試験の3大特色

1 Largest (我が国最大規模の国家試験)

58万人(19年度応募者数)

➡ 1425万人(制度発足(昭和44年)以来の応募者数累計)

156万人(合格者数累計)

2 Cheapest (国家試験では最も安価な受験料水準)

➡ 5,100円

3 Fastest (試験結果の迅速な提供)

➡ 合格発表まで24日(19年度秋期AD・FE)

<客観的な人材評価メカニズムのレベル判定の ツール化>



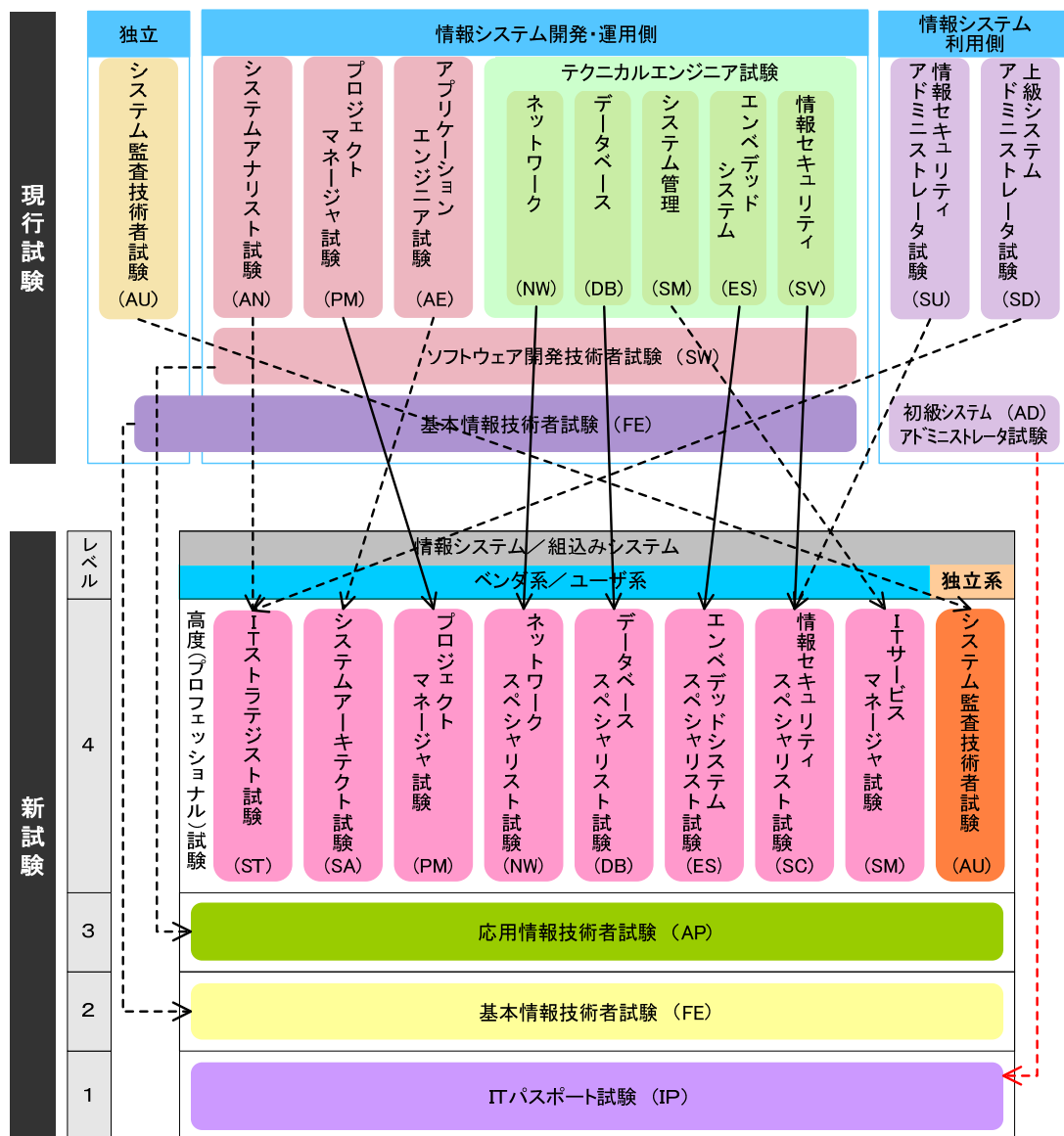
高度 IT 人材	スーパー ハイ	レベル7	国内のハイエンドプレイヤーかつ 世界で通用するプレイヤー	成果(実績) ベース ↓ 業務経験 や面談等	プロ ミニ 各 企 業 で 判 断	情報処理技術者 試験での対応は レベル4まで	
		レベル6	国内のハイエンドプレイヤー				
		レベル5	企業内のハイエンドプレイヤー				
	ミドル	レベル4	高度な知識・技能	試験+業務 経験により判断			高度試験
		レベル3	応用的知識・技能	スキル (能力) ベース			ミドル試験
		レベル2	基本的知識・技能	↓			基礎試験
	エントリー	レベル1	最低限求められる基礎知識	試験の合否			エントリー試験

(平成19年7月20日産業構造審議会人材育成WG報告書より)

<情報処理技術者試験と各スキル標準の整合化>

	ITスキル標準 (ITSS)	組込みスキル標準 (ETSS)	情報システムユーザー スキル標準 (UISS)
公開時期	2002年12月	2005年5月	2006年6月
実施主体	IPA/ITスキル標準センター	IPA/ソフトウェア・エンジニアリング・センター (SEC)	経済産業省
目的	各種 IT 関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学における IT サービス・プロフェSSIONナルの育成・教育に有用な共通枠組み。	組込ソフトウェア開発に関する最適な人材育成、人材の有効活用を実現するための指標。(スキル基準では“技術”に着目し、ビジネスやパーソナル等のスキルは定義していない。)	情報システムを活用するユーザー企業/組織において必要となるスキルをシステムの企画・開発から保守・運用・廃棄に係るまでのソフトウェアライフサイクルプロセスに基づき体系化した指標。
主な対象	ベンダ	組込みエンジニア	ユーザ
切り口	人材 (キャリアフレームワーク)	技術 (スキルフレームワーク)	組織機能と業務
構造	<p>スキルディクショナリー</p>	<p>キャリアフレームワーク</p>	<p>キャリアフレームワーク</p>

＜新試験と現行試験の対応関係＞



- ・ → : 現行試験区分と新試験区分は、試験の対象範囲・レベル感においておおむね相当することを示す。
- ・ - - - → : 現行試験区分と新試験区分は、試験のレベル感においておおむね相当するが、新試験区分において出題範囲の一定の拡大や技術面の部分的な補完などがあることを示す。
- ・ - - - - - → : 現行試験区分と新試験区分の対象範囲はほぼ同様であるが、現行試験区分が新試験区分のレベルを包含する関係にあることを示す。

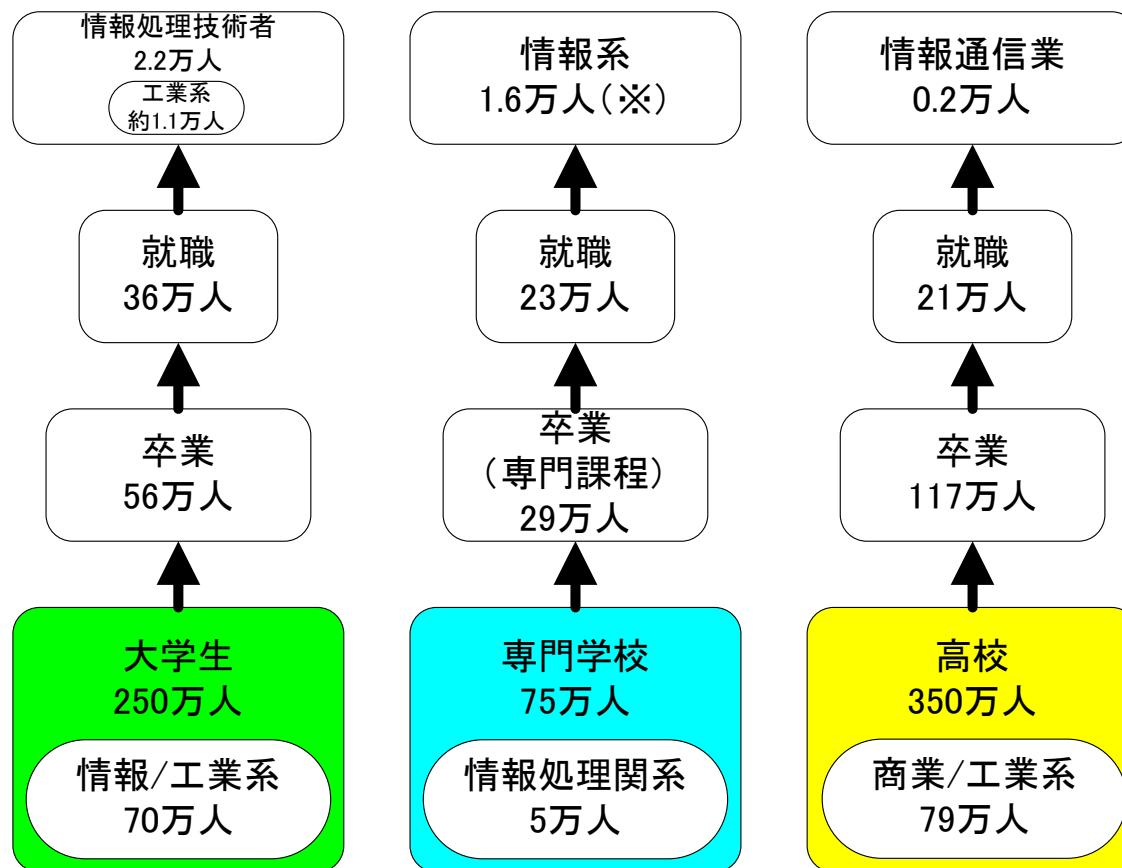
■ITパスポート試験の創設

1. 職業人として誰もが共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を測る。(社会への登竜門)
2. 165分、100問の多肢選択式の試験
 - (1)ストラテジー(戦略)系
 - (2)マネジメント(管理)系
 - (3)テクノロジー(技術)系の3分野から基礎的知識を幅広く出題
3. 3分野及び合計総得点が一定の基準点に達した場合に合格。経済産業大臣からの合格証には、得点が記載される。

■ 今後のスケジュール

1. 本年度秋までに、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験のシラバス(Syllabus: 情報処理技術者おける知識・技能の細目)を公表する予定。
2. 平成21年春期試験(4月)から新試験制度で実施。
※初級システムアドミニストレータ試験は平成21年度春期試験まで実施
3. 平成23年度を目途に、ITパスポート試験において、CBT(Computer Based Testing)方式の導入を目指す。

参考1 情報処理産業への新規参入者(推定)



18年 学校基本調査より

※IPA情報処理技術者試験センターによる推定

参考2 現行試験(AD、FE、SW)の応募者数 (平成18年度)



AD	社会人			大学院			大学・短大			専門学校		高校		その他		合計		
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
		98,996	65%		1,297	1%		26,982	18%		10,774	7%	12,171	8%	1,981	1%	152,201	100%
	ベンダ	28,162	39%	情報系	365	28%	情報系	12,087	45%									
	ユーザ	44,625	61%	非情報系	932	72%	非情報系	14,895	55%									
		72,787	100%		1,297	100%		26,982	100%									

FE	社会人			大学院			大学・短大			専門学校		高校		その他		合計		
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
		126,096	65%		5,541	3%		30,578	16%		24,562	13%	4,855	2%	2,647	1%	194,279	100%
	ベンダ	83,661	83%	情報系	2,931	53%	情報系	20,700	68%									
	ユーザ	17,455	17%	非情報系	2,610	47%	非情報系	9,878	32%									
		101,116	100%		5,541	100%		30,578	100%									

SW	社会人			大学院			大学・短大			専門学校		高校		その他		合計		
	人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
		91,927	88%		2,034	2%		3,889	4%		5,378	5%	383	0%	391	0%	104,002	100%
	ベンダ	70,653	89%	情報系	1,518	75%	情報系	3,158	81%									
	ユーザ	8,809	11%	非情報系	516	25%	非情報系	731	19%									
		79,462	100%		2,034	100%		3,889	100%									

AD: 初級システムアドミニストレータ試験

FE: 基本情報技術者試験

SW: ソフトウェア開発技術者試験

参考3 アジア諸国との相互認証締結状況

